

教職をめざす学生を応援するコミュニティー誌

| 2017
winter
vol. 8

EDU PONT

エデュポン

近畿大学
経営学部在学中

一ノ瀬メイさん
パラリンピック競泳選手

特集

比べてみよう 世界の 学校事情

**CAMPUS
SNAP**

千葉編

聖徳大学、明海大学

どんな先生に
なりたいですか？

03 教育リレーコラム
寺脇研さん
これまでの学びを活かし、
共に学び、共に考える教室を

04 特集
比べてみよう、
世界の学校事情

08 今さらきけない！教育問題
「学校徴収金」とは？
明星大学教授
樋口修資さん

12 シェアしたい！
教育関連おすすめ
Book & Movie

14 表紙の人インタビュー
一ノ瀬メイさん
世界に通用する
競技者になりたい

15 キャンパススナップ
千葉編 聖徳大・明海大
どんな先生になりたいですか？



これまでの学びを活かし、 共に学び、 共に考える教室を



寺脇研さん
(てらわき けん)
1952年生まれ。京都造形芸術大学教授。1975年に文部省（現・文部科学省）に入り、生涯学習政策担当審議官などを歴任。「ゆとり教育」の広報を担当し「ミスター文部省」とよばれる。2006年の退官後も民間の教育ボランティアとして精力的に教育問題に取り組む。17年11月に『これからの日本、これからの教育』（ちくま新書）を刊行。

「教育リレーコラム」八回目は、元文部科学省官僚で「ミスター文部省」と呼ばれる寺脇研さん。2020年度から実施される新学習指導要領を読み解き、これから教員をめざす学生へのメッセージをいただきました。

新

新しい指導要領の実施が近づいてきた。小学校在2020年度、現在大学において教職を志望している皆さんは、この指導要領に沿って教育に携わることになるわけだ。「主体的・対話的で深い学び」をめざすアクティブ・ラーニング（AL）が主流になり、先だって小学校で18年度、中学校で19年度からは、「考え議論する道徳」を掲げて道徳が「特別な教科」となる。



教育現場では、「文部科学省からまた新しいものが下りてきて…」とため息をつく先生方も多いようだ。

それも無理はない。小学校で02年度に実施された前指導要領

では「自ら学び、自ら考える」力を育てるために総合的な学習の時間が導入され、答えのない問題を考える調べ学習、体験学習を取り入れた学習の〈質〉の改革が求められた。

ところが、「ゆとり教育」で学力が低下するという根拠のない、そう、今で言うフェイクニュースがマスコミにあふれる。そのため、国民の心配に配慮して〈質〉はそのまま〈量〉を若干増やした現指導要領が11年に実施されると、文科省は否定しているのに「脱ゆとり」との誤解が生じてしまった。現場では「ゆとり」と「脱ゆとり」のどちらを向いていいのか戸惑いがある。

そして新指導要領の登場だ。「主体的・対話的で深い学び」とは、明らかに「自ら学び、自

ら考える」の進化形である。前と現の指導要領が示した〈質〉の改革を、さらに推し進めようとしている。ただ、「脱ゆとり」の言葉に惑わされると、「ゆとり」↓「脱ゆとり」↓「アクティブ・ラーニング（ゆとり）」の右往左往に思えてしまう。現場も災難だ。02年からこれに当たってきた四十代以上の先生方には申し訳ない。



でも、これから教壇に立つ皆さんは違う。02年以来的の方向を確定、進化させ、揺るぎない理念となったアクティブ・ラーニングを、これからは迷うことなく実行していけばいいのである。しかも、今の大学生は02年以降に小学校教育を受けている。「ゆとり世代」と揶揄されて口

惜しい思いをさせてしまったのは詫びたいが、前の世代よりも「自ら学び、自ら考える」力については自信を持っている。さらに、教員養成課程でもアクティブ・ラーニングに対応した教育を受けている。

もちろん、現場経験や人生経験で先輩方に及ばないのは常に自戒する必要があるけれど、新採教員である自分自身の力量をことさらに卑下しなくてもいい。これまで小学校以来学んできたことを存分に活かし、子どもたちと共に学び、共に考え、教室に「主体的・対話的で深い学び」を成立させてもらいたい。

二十代の皆さんも、さらに六十年、七十年の未来を生きていくのだ。子どもたちの未来を拓く学びを先導してくれることを期待してやまない。

特集

比べてみよう、世界の学校事情

「海外の学校は日本とどう違う?」

世界の学校文化を知れば、

日本の学校のあり方を

見つめ直すきっかけになるかもしれません。

今号の特集では、世界の初等・中等学校の様子を紹介します。

制服・通学事情

登下校は学校の管轄外

アメリカでの通学は黄色のスクールバスが一般的で、遠足などの校外学習などにも用いられます。イギリスやフランスなどは保護者の送迎が一般的です。これらの国では教員が登下校指導などを行うことは基本的にはありません。

学校制服発祥地のイギリスでは、名門イートン校の燕尾服など有名なですが、ブレザーは公立中等学校にも普及しています。私服通学が主流のアメリカでも、学習に集中させるなどの理由で近年、制服着用を求める例が増えています。

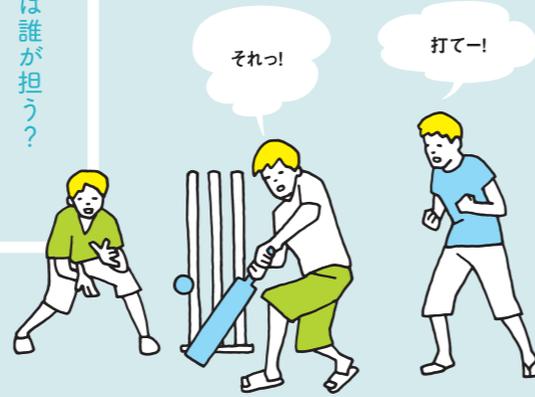


放課後事情

課外活動は誰が担う?

日本では中学校の「部活動」が放課後の活動として一般的ですが、学校による課外活動が広く普及しているのは、国際的に見て珍しいと言えます。学校はあくまでも「学業」の場であり、課外活動には一切関与しない国・地域も少なくありません。例えばフランスでは、子どもたちは放課後の課外活動へ参加することとされていますが、運営母体は自治体やアソシエーション(市民活動団体)です。ドイツは、授業が終わると、子どもも教員もすぐに帰るため、学校には誰もいなくなりません。クラブ活動や委員会活動などはありませんが、子どもたちは地域のスポーツクラブ、音楽や芸術、ボランティアなどの各種団体に入って活動します。

一方、イギリスは楽しい課外活動を提供することが学校の役割と考えられており、スポーツや演劇、音楽などの活動も盛んです。



18:00 17:00 16:00 15:00 14:00 13:00 12:00 11:00 10:00 09:00 08:00

日本の小学校

18:00 習い事・家庭学習など	17:00 放課後 (委員会・クラブ活動など)	16:00 帰りの会	15:00 授業	14:00 掃除	13:00 給食 昼休み	12:00 授業	11:00 朝の会	10:00 登校	09:00 登校	08:00 登校
---------------------	----------------------------	---------------	-------------	-------------	--------------------	-------------	--------------	-------------	-------------	-------------

18:00 地域・家庭での活動	17:00 下校	16:00 補習	15:00 授業	14:00 ランチ	13:00 授業	12:00 登校	11:00 登校	10:00 登校	09:00 登校	08:00 登校
--------------------	-------------	-------------	-------------	--------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------

フランスの小学校

教室事情

机配置で「学び」が変わる?

教室の机配置などのレイアウトは、授業のあり方を決めると言われます。日本のように、黒板に向かって机が並ぶ形式が一般的とは限りません。例えばイギリスの初等学校では、教員が話す時は教室にあるカーペットのスペースに子どもたちが集まり、作業の時は「島形式」に配置された机でグループごとにとりくむなど、授業スタイルに合わせて対応できる工夫がされています。

ランチ事情

自宅で昼食をとる国も

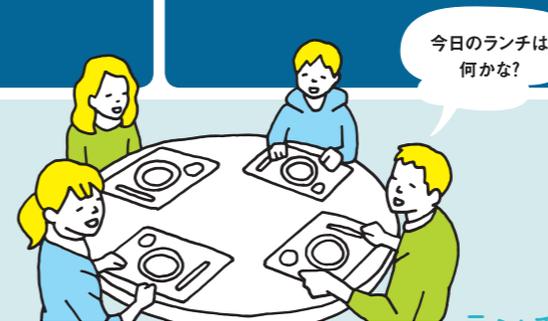
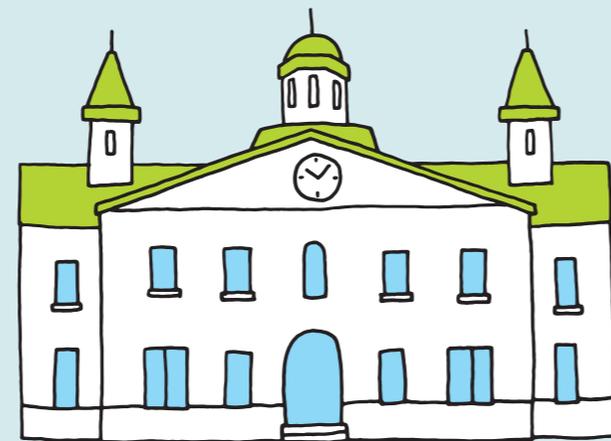
給食がある国は少なくありませんが、日本のように教室などで一斉に食べるとは限りません。イギリスやフィンランドは学校に食堂があり、クラスや学年ごとに交替で食事をとります。フィンランドは、全国すべての学校で給食が無料提供されています。

自宅で食事をとる例もあります。ドイツの学校は伝統的に「半日制」で、午前中に授業が終了したら、まっすぐ自宅に帰り昼食をとるのが一般的です。フランスは昼休みが2時間ほどあり、自宅に戻って家族で昼食をとり、午後の授業に戻ってくる子どももいます。

家庭学習事情

「宿題ゼロ」ではない

「海外の学校は宿題がない」などと言われます。教員の裁量によるところも大きいですが、海外の学校でも課題がまったく出ないわけではありません。例えばイギリスでは、1998年に政府が学年に応じた標準時間を設定するなどした「宿題ガイドライン」を発表しました。これを受けて、多くの学校で宿題の方針を策定し、実施しています。指定の「宿題帳」があり、毎週、保護者から確認のサインをもらわなければならない学校もあります。ただし、日本と異なり、長期休暇には宿題が出ない例もあるようです。



TOPIC 3

ICTを用いた教育が進んでいる国は？

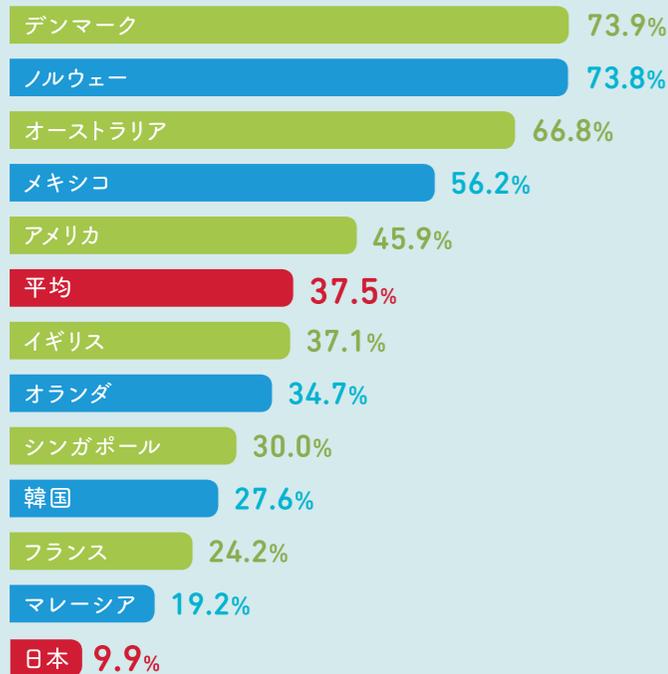
子どもを取り巻くICT環境はめまぐるしく変化しており、教育のICT化の動きも世界的に大きな広がりを見せています。大規模な予算を投入した韓国では、インターネット接続された大型テレビやPCが各教室に備え付けられ、一人一台のタブレット端末も普及しました。イギリスでは、2000年代に電子黒板が急速に普及し、電子黒板対応の教材開発も進みました。09年時点で、ほぼすべての初等・中等学校が所有しています。

OECD「PIISA2015」のICT活用調査では、日本の学校の情報環境やICTの学習用途での利用頻度は調査参加国中でも最低レベルです。13年に実施されたOECDの国際調査(TALIS2013)でも、「生徒は課題や学級の活動でICTを用いる」と回答した中学校教員は、日本ではわずか9.9%で、7割を超えていたデンマークやノルウェーに大きく引き離されています(図表2)。日本の学校教育のICT環境整備は、世界から20年以上遅れていると言われています。



図表2

生徒は課題や学級での活動にICTを用いる



出典：OECD,TALIS2013



TOPIC 1

海外の「義務教育」制度はどうなっている？

日本では義務教育期間は満6歳から15歳までの9年間で、教育制度は国によって様々。年数や開始年齢は国や地域ごとに異なります。フィンランドでは、日本と同様の9年間ですが、開始年齢は概ね満7歳から。他国に比べて遅めのスタートですが、就学年齢を早めたり遅らせたりすることも可能です。

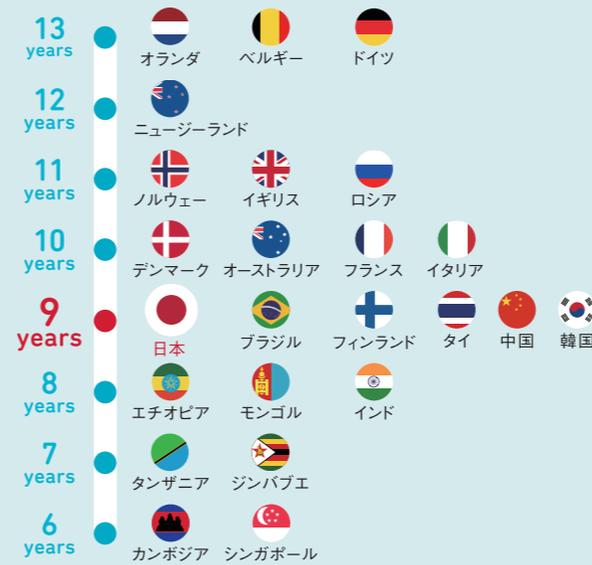
イギリスでは、日本より1年早い満5歳から義務教育が始まります。11歳から中等学校に進み、16歳までの計11年間に義務教育期間です。

州や地区ごとに異なる例もあります。アメリカでは、5歳から始まる州もあれば、8歳からの州もあります。オクラホマ州など最も長い州では、5〜18歳までの13年間が義務教育期間とされています。

教育行政の地方分権が進んでいるドイツは、各州の文部省に権限があり、州ごとに制度やカリキュラムが異なります。概ね9〜10年間に義務教育期間で、初等教育後は、主に3種類の中等学校から一つを選択する複線型の学校制度となっています。

図表1

各国の義務教育年数



*ドイツの13年は定時型就学義務の場合。全日型就学義務は9〜10年。

*アメリカは州によって9〜13年まで幅がある。

*文部科学省・外務省ホームページなどから編集部が抜粋して作成。

TOPIC 2

海外の学校行事にはどんなものがある？

「学校行事」のあり方は、それぞれの国、地域の文化や教育への考え方を知る手がかりになります。日本で重視される入学式や始業式、卒業式など節目の式典は、国際的には一般的ではありません。

ヨーロッパでは、学校は「学業」をする場という考えに基づき、教科教育以外は基本的に学校で担わない国も多いです。例えばフランスは、学校にスポーツを学ぶ課程がなく、校内に運動場がないことも珍しくありません。

一方で、教科教育以外の特別活動や行事も積極的に行われている国もあります。アメリカでは、演劇やコンサート、スクールバスでの遠足など、小学校でも多くの年中行事が展開されています。中学校に

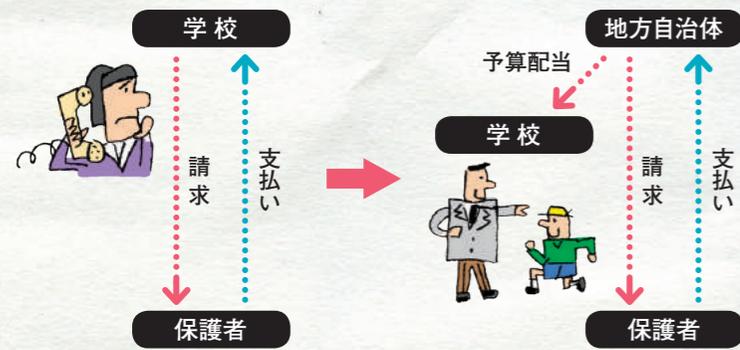
なると、定期的にダンスパーティーなども開催されます。イギリスでは、年度末に様々な学校行事があります。運動会は「スポーツデー」と呼ばれ、長靴投げや障害物競走など、遊び要素が強く、競い合うのではなく、身体を動かすのを楽しむ日となっているようです。また、「バジャマデー」(子どもも教職員もバジャマを着て登校)などチャリティを目的とした行事が多いのも特徴です。

国や地域の文化を学校行事に取り入れる例もあります。「リオのカニバル」で知られるブラジルでは、伝統の祭りである「フェスタジュニーナ」が学校の恒例行事となっており、ダンスや仮装大会などで盛り上がります。

恐竜図鑑の紹介をします



給食費公会計化のイメージ



第一に、学校徴収金は、公費の補完的・代替的財源となり、公費私費の負担区分を曖昧にしてしまっている現状があります。本来、義務教育期間の学校教育活動は、公費による対応を原則とし、安易に保護者負担に頼るべきではありません。それでも私費負担が必要な場合には、負担の軽減を常に図りながら、適正な会計処理を行い、保護者

学校徴収金の課題は？

学校徴収金は学校長の責任の下、運用される私費会計ですが、その性格上、公費に準じた運用などを防ぐため、地方自治体の中には「学校徴収金取り扱い要綱」を作成し、透明性のある会計処理を行うよう定めているところもあります。

学校徴収金とは？

私費のうち、各学校の裁量で保護者から徴収するものです。学校の学校教育費（修学旅行、図書・学用品・実習材料費等）が59,228円、学校給食費43,176円で合計102,404円、中学校では合計167,386円となっており、義務教育期間中でも、子ども一人に対し年間10万円以上の保護者負担が発生しています。

現在、進められているのが学校給食費の「公会計化」です。徴収・管理業務を地方自治体が

課題解決の糸口は？

への説明責任を果たすことが大切で、このため、保護者を交えて、学校徴収金の使途や金額が適切であるかを議論する検討委員会を設ける学校もあります。第二に、集金や未納など実務上の問題があります。集金方法は、現金徴収から、口座振込、口座振替などに移りつつありますが、どの方法でも未納は発生します。その際、保護者への督促など個別の対応は、教員が担わざるをえません。時間的のみならず、精神面でも教員の大きな負担になっています。未納による欠損への対処も大きな問題です。文科省が05年度に行った学校給食費の徴収状況に関する調査では、全国の児童・生徒の1%にあたる約10万件が未納との結果が出て、メディアにも大きく取り上げられました。実際には、未納家庭の子どもにだけ給食を提供しないわけにはいきませんから、食料費を削る、他の経費で補填するなどで対処しているのが現状です。



イラスト：ワタナベケンイチ

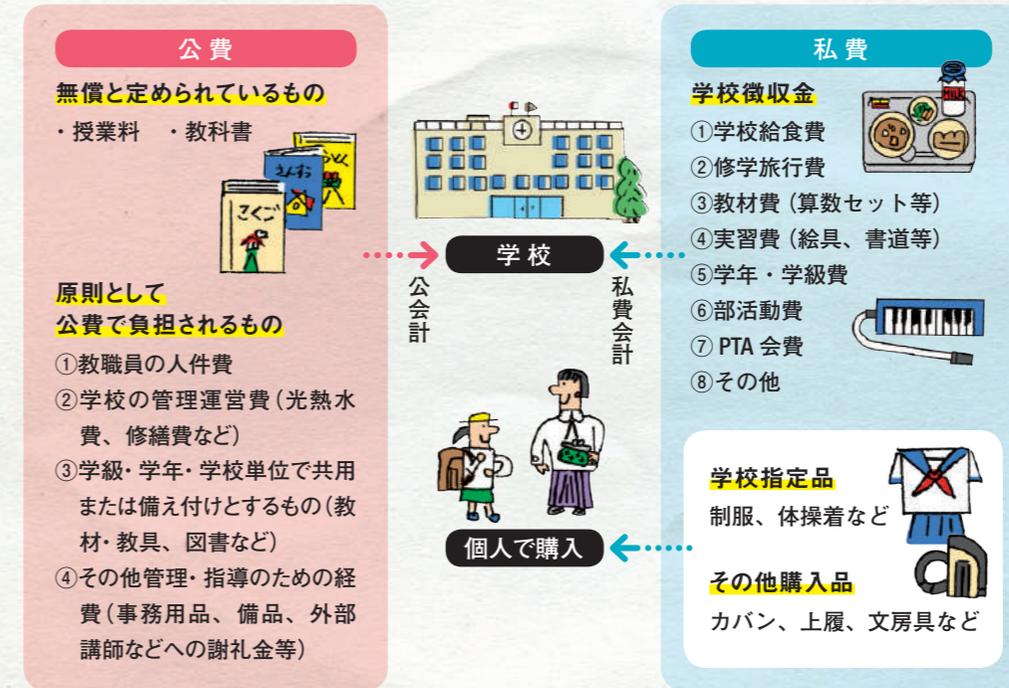
樋口修資（ひぐち・のぶと）

明星大学教育学部教授。1976年に文部省（現文部科学省）入省、大臣官房審議官、スポーツ・青少年局長などを歴任。2009年より明星大学教授、東京学芸大学客員教授。

さらに、近年、無償化も拡大しています。約50自治体では給食費を無償化、そのうち山梨県早川町など7自治体では、教材費や修学旅行費などもすべて税金で賄う完全無償化を実現しています。この流れをさらに拡大し、公会計化とともに、学校徴収金の完全無償化が推進されることを期待しています。

担当ことで、教員の時間的、精神的な負担が大きく減少し、子どもたちの指導に専念することができると。文科省も17年8月に「学校における働き方改革に係る緊急提言」において、給食費の公会計化や学校徴収金を教員の業務としないことなどを提言しました。全国で510自治体（29・3%）が給食費の公会計化を実施しています。

就学経費の内訳イメージ



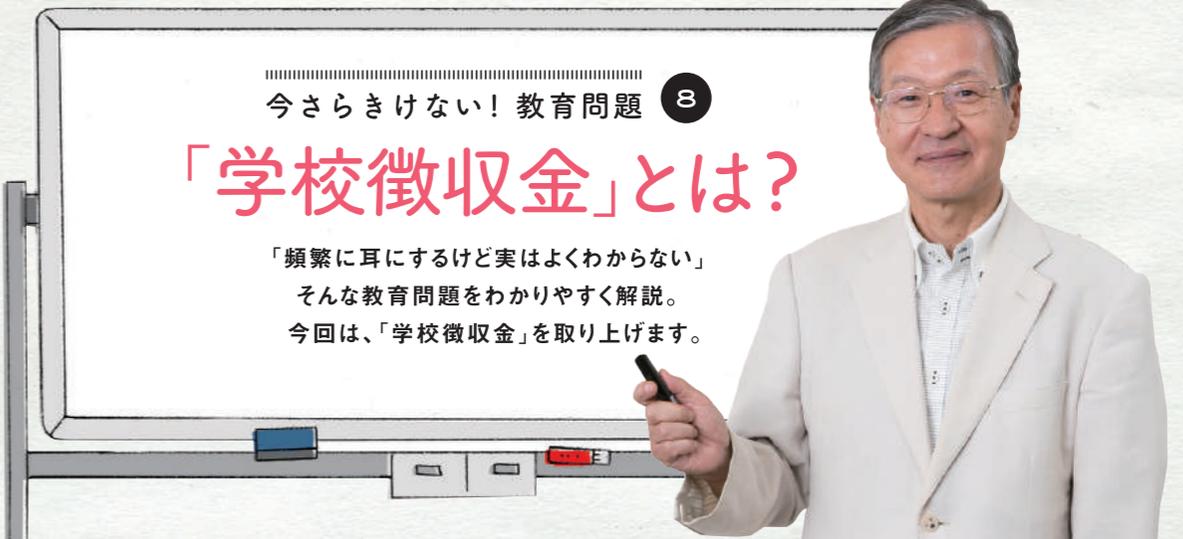
*上の項目はイメージです。実際の経費区分、公費私費の区分は自治体によって異なります。

義務教育は無償ではないの？

義務教育の無償は憲法26条第2項に定められています。「無償」の範囲については議論がありますが、最高裁判例では「授業料の不徴収」を意味すると示されています。

公費私費の負担区分は？

公費は、教職員の人件費、学校の管理運営費、学級・学年・学校単位で共用または備え付けとするもの、その他管理・指導のための経費に充てられます。その他の経費が、学校徴収金や各家庭での購入などの私費負担になります。負担区分は自治体により異なりますが、概ね以下の4点で整理できます。①子ども個人の所有物で学校でも家庭でも使用できるもの（ドリルなどの副教材、書道セット、制服等）、②教育活動の結果として直接的利益が子どもに還元されるもの（給食、修学旅行、卒業アルバム等）、③生徒会・部活動などの費用、④PTA会費などです。



教職員になったら 助け合いの輪 に加わろう

1 教職員共済のルーツは教職員自身の手で立ち上げられた福利厚生団体だったんだよ。

2 昔から日本は色々な災害が起きてきたから、その都度十円カンパを募る教職員もいたんだ。

3 うーん、でもそれじゃ効率悪いし、分配も大変...

4 そう、そこでカンパの代わりに毎月少額を出し合って見舞金制度をつくらうと考えた。それが原点。
発足時、「史上空前の給付」ということで「総合共済」が注目されたんだよ。

5 その後、生協化し、学校・教育機関の共済生協で、唯一厚生労働省の認可を受けているんだ。

6 幅広い保障がそろっていて安心ですね!
新終身共済
火災共済&自然災害共済
団体生命共済
医療共済
総合共済
車両共済
自動車共済
年金共済
交通災害共済
今では10種類もの共済を擁する大きな組織なんだ。

7 教職員になったら、この助け合いの輪に加わってくださいね!

12の保障(補償)

- 教職員賠償
 - 個人賠償
 - 火災
 - 住宅災害
 - 災害見舞
 - 死亡
 - 後遺障害
 - 入院・休業
 - 傷害
 - 介護(傷害事故による)
 - 遭難救助
 - 退職
- 1年以上契約すると誰でももらえる!

※この共済は教職員共済の「総合共済」と損保ジャパン日本興亜の「傷害総合保険」「業務過誤賠償責任保険」とのセット商品で、月掛金900円のうち170円は損保ジャパン日本興亜の保険料です。

教職員になったら教職員共済へ!

教職員共済といえばやっぱり!

総合共済

[月掛金900円で12の保障(補償)]

支払事例

▼ CASE 1
業務中の賠償事故 — **教職員賠償**
卒業アルバムの校正ミス!!
卒業アルバム作成時に1名の生徒の写真がもれていたが、契約者が校正の際に気付かず、後で修復が必要になった。

お支払金額 **約16万円**
※補償の有無・支払金額などは状況により異なります。

2016年度の支払実績(教職員賠償)
件数 **150件**
支払金額 **約850万円**

▼ CASE 2
日常生活の賠償事故 — **個人賠償**
自転車で人をはねて重傷を負わせた!!
歩行者のそばを契約者の同居家族が自転車で追い抜こうとした際に、その歩行者が立ち止まり後方から衝突。激しく転倒させてしまった。

お支払金額 **約315万円**
※補償の有無・支払金額などは状況により異なります。

2016年度の支払実績(個人賠償)
件数 **244件**
支払金額 **約5,914万円**

詳細はWEBから!
メルマガ登録も受付中

教職員共済

検索

<http://www.kyousyokuin.or.jp/>

厚生労働省認可

教職員共済生活協同組合

〒162-8624 東京都新宿区山吹町10-1ラポール日教済
TEL.03-5228-0661(代)

今、「教育」を考えるための6つのコンテンツ

Book&Movie



子どもの貧困対策と教育支援 一より良い政策・連携・協働のために 末富 芳 編著 明石書店

子どもの貧困問題を解決したいすべての人へ向け、実態調査を踏まえた対策を提案。内閣府子供の貧困対策に関する有識者会議委員による編著。



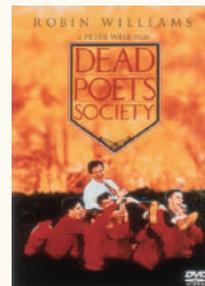
君たちはどう生きるか 吉野源三郎 著 岩波文庫

悩みや発見を通し成長する少年コペル君。それを見守る叔父さんは彼に宛てたノートで優しく語りかける。戦前から読み継がれる名著。



これからの日本、これからの教育 前川喜平 寺脇研 共著 ちくま新書

本誌「教育リレーコラム」執筆の「ミスター文部省」寺脇氏と前文科省事務次官の前川氏が日本の行政から教育までを徹底討論。



いまを生きる DVD発売中 1,429円+税 発売 ウォルト・ディズニー・ジャパン ©Touchstone Pictures.

破天荒な新任の英語教師が抑圧されたエリート校の生徒たちに、自らの考えで行動することを教え、詩を通じて心を通わせる青春映画。



バベルの学校 DVD発売中 4,000円+税 発売 ユナイテッド・ピープル ©UNITED PEOPLE

世界中からやってきた10代の子どもたちが、フランスの適応クラスで過ごす1年間。教室の中の多文化共生や多様性を映すドキュメンタリー。



プレゼント 小学校保健室から発信! 先生・保護者のためのスマホ読本 今津孝次郎 監修・著 子どもたちの健やかな育ちを考える 養護教諭の会 編著 学事出版

いまやスマホデビューが当たり前となった小学生のために家庭や学校が留意すべきことを、保健室の事例を元にとまとめた、養護教諭による本。

「学」 生時代の読書は一生の財産と言われます。たっぷりと時間がある学生時代のうちに、本や映画に触れておけば、知識や話題の引き出しが増え、教職に就いてからも役立つに違いありません。 読書の秋、芸術の秋、ということで、EDUPONT学生特派員や明星大学教育学部教授・樋口先生、教職課程を履修中の学生に、推薦図書コメントと共に紹介していただきました。 さらに、エンターテインメントから専門書まで、編集部が6つの教育関係の本&映画をおすすめします。

シェアしたい! 教育関連おすすめ Book&Movie

「キャンパススナッフ」出演の教職志望学生オススメ!

comment 先生も人間であり、完璧な人はいない。それでも子どものために想う先生たちの姿に、「私も不器用だけど春から先生頑張ろう」と勇気をもらえた一冊です。



せんせい。重松清 著 新潮文庫 オトナになってほろ苦く思い出す、先生と子どもをめぐる6つの短編集。

EDUPONT学生特派員オススメ!

comment 「勉強するのは何のため?」という誰もが持つ「問い」に対し、誰もが納得できる「答え」を作る方法を哲学の知恵から考える。子どもと共に考えながら読みたい。



勉強するのは何のため? 僕らの「答え」のつくり方 吉野一徳 著 日本評論社 素朴な問いを、哲学的思考で捉えなおす。哲学が身近になる本。

「今さらきけない!教育問題」出演の樋口先生オススメ!

comment 子どもの貧困が社会的問題となる中、学校教育における私費負担や就学援助の実情と課題を明示し、教育費無償化の展望を論ずる。教育関係者は是非、一読を。



子どもの貧困と教育の無償化 学校現場の実態と財源問題 中村文夫 著 明石書店 教育財政に長年関わってきた著者が具体的なデータをもとに論じる専門書。

Pick Up Movie 上映会を企画してみよう!



(C) 関西テレビ放送 配給 合同会社 東風 詳細 http://minna-movie.jp/ 全国で開催中の上映会スケジュールはこちら http://minna-movie.jp/jyouei.php#schedule

「みんなの学校」 すべての子どもに居場所がある学校を 大阪市の公立小学校を取材したドキュメンタリー映画。支援が必要な子どもが全校児童の1割以上在籍する大空小学校の理念は、「すべての子どもの学習権を保障すること。特別支援教育の対象となるような障がいのある子ども、自分の気持ちをうまくコントロールできない子ども、みんな同じ教室で学んでおり、児童、教職員、保護者、地域、それぞれの立場の助け合いと工夫で、「不登校ゼロ」を実現しています。 公開から2年を経てなお、全国で上映会が開かれ、注目を集める作品。上映会は、条件を満たせばだれでも開催可能です。ゼミの仲間と、友人と、指導教授を説得して...、企画してみたいかがでしょう。

Pick Up Information



テーマごとにグループになり、授業の悩みや成果について話し合いをする教職員。

若手教職員交流の場 「TOMOKEN 青年教育実践交流会」(日本教職員組合主催)を EDUPONT 学生特派員がレポート! 10/7(土)〜8日(日)に開催されたTOMOKENでは、全国から集まった先生が「友と共に学ぶ」という理念の下、議論を深めていました。私が参加した「子どもに寄り添った授業作り」のグループでは、学力格差のある教室での授業の方法、通級の先生との連携の悩みなど、先生方のリアルな悩みが議題としてあがりました。面白いと思ったのは、初めて会った先生同士が、「そういうことあるよね」「同じことで悩んでいたけど、こういう対策をしたよ」というように、一つの組織の仲間のように話し合っていたことです。 全国の先生達が明日の授業の為に議論している姿はとてもまぶしく映りました。(東京学芸大学大学院 松木泰裕)



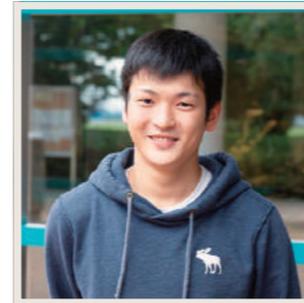
荒井遥佳さん（聖徳大学児童学部児童学科小学校教員養成コース3年）①クラス制で友達が作りやすい ②高校の部活顧問に言われた「できない人には言わない（君ならできる）」 ③大学のピアノの実習試験に合格した時 ④いつでも全力で子どもと向き合う先生



中村亮太さん（明海大学外国語学部英米語学科4年）①大学教職員の方が親身になってくれる ②Life was like a box of chocolates. You never know what you're gonna get. (映画の台詞) ③教室で自分の発言がウケた時 ④生徒の記憶に残るような楽しい先生



平井優美さん（聖徳大学児童学部児童学科小学校教員養成コース3年）①学食メニューがオシャレ ②高校の時、吹奏楽部の顧問に言われた「君は本番に強いんだから、諦めないで」 ③ピアノ試験に合格した時 ④子どもたち一人ひとりに正面から向き合う先生



上川哲さん（明海大学外国語学部英米語学科3年）①解放感のあるキャンパス風景 ②父の格言「準備8、本番2（備えあれば憂いなし）」 ③大好きな野球をしている時 ④「会いに行こうぜ」と卒業後も生徒たちに言われるような先生。自分にもそういう恩師がいる



千葉編

CAMPUS SNAP
どんな先生になりたいですか？

今回のキャンパススナップは
千葉県の聖徳大学・明海大学の
学生さんにご登場いただきます！



- ①自分の大学の好きなおところは？
- ②今でも覚えている、先生（家族、友人、恋人等）の言葉は？
- ③学生生活で一番ハッピーに感じた時は？
- ④どんな先生になりたいですか？



篠原百合香さん（明海大学外国語学部英米語学科3年）①クラス制などところ ②教員免許取得を相談した父に「大学生にしかできないから（挑戦しなさい）」と言って貰えたこと ③大学の手伝いしている時。このインタビューも！ ④生徒の気持ちに寄り添える先生



松村和代さん（聖徳大学児童学部児童学科小学校教員養成コース3年）①学校現場の情報が豊富 ②中学の時、塾の先生に言われた「いつも努力しているから結果はついてくる」 ③ピアノの試験に合格した時 ④優しいだけでなく厳しさもある先生



脇山清美さん（明海大学外国語学部英米語学科3年）①教職課程センターの先生が親身になってくれるところ ②入試前、高校の先生に言われた「努力は必ず実る」。その通り合格できた ③ネイティブの先生と行う模擬授業を体験できた時 ④生徒が話しやすい先生



小関聖翔さん（明海大学外国語学部英米語学科4年）①ネイティブの先生が多い ②高校の担任に言われた「堅いイメージだったけど君が普通の男子生徒と同じ気持ちで良かった」 ③厳しい先生に褒められた時 ④盛り上がる時は盛り上がり、締める時は締める先生

※学年は取材時のもの

Interview

Mei Ichinose



— 水泳を始めたきっかけは何だったのですか？

両親が、近所の障害者スポーツセンターのプールに連れて行ってくれたのが水泳との出会いです。小学3年生の時、当時職員だったパラリンピック競泳の日本代表監督の猪飼聡さんに、「世界をめざさないか」と声をかけていただいたのです。大好きな水泳で海外に行けることが嬉しく、本格的に競泳を始めました。

— 大学進学時には進路を悩まれたそうですね。

興味のある建築学と水泳を両立できる大学が通学圏内に見当たらず、迷っていた時、世界のトップアスリートたち

表紙の人インタビュー

世界に通用する
競技者になりたい

パラリンピック 競泳選手 一ノ瀬メイさん 近畿大学 経営学部在学中

授業に出られない分、レポート提出に苦労していますが、競技生活に役立つことも多く、本当にありがたいです。

— 大学に進学して何か変わりましたか？

水泳を「団体競技」だと考えるようになりましたね。高校までは一人で練習することが多かったこともあり、個人の戦いだと思っていました。リオパラリンピックの代表選考会の時、水上競技部の部員全員がサプライズで大阪から静岡まで駆けつけてくれたんです。毎日、同じ方向を向き、ともに練習に励んできました。仲間の声援が大きな力になりました。

— 今後の目標を聞かせてください。

2020年東京でのメダル獲得はもちろんですが、パラ競技が注目されている今は、「障害」について知ってもらえるチャンスだと思い、積極的に発信をしています。パラリンピックへの関心は高まってきたとはいえ、「障害者」への理

解はまだまだ不十分です。例えば、肢体不自由というだけで、泳げるのにスイミングクラブへの入会を断られることもあると聞きます。そんな例が一つでも減らせたなら、この思いもあります。

最終的には、アスリートとして結果を残すだけでなく、発言や立ち居振る舞いなど人間的にも「世界に通用する競技者」になりたいです。

— 教職をめざす大学生にメッセージをお願いします。
子どもは先生や親、友達の何気ない一言で傷つき、自信を失います。そんな時、その子の視野や想像力が広がるようなひと声をかけてほしい。私がそうだったように、自分の外の世界の存在を知り、広がりやを夢みるもので、とても勇気づけられるものだから。

Profile

1997年、京都市生まれ。近畿大学水上競技部所属。先天性の右前腕欠損症。1歳半から水泳を始め、2010年の中国・広州アジアパラリンピックの50メートル自由形で銀メダル。16年のリオデジャネイロ・パラリンピックで日本代表として計8種目に出場。



社会応援 ネットワーク



エデュボン

EDUPONT 大学生特派員 大募集!

同じ夢をめざす仲間と今しかできない経験を!

「EDUPONTエデュボン」は、学校や地域という枠を超え、様々な形でこれからの「教育」を担っていく学生のみなさんを応援するコミュニティマガジンです。媒体の制作を通じて、全国の教育学部生の交流の場、学生が自由に「志」を抱き、行動に移すための有益な情報や活躍の場を提供することをめざしています。「EDUPONTエデュボン」の制作に加わってくれる全国の大学生のみなさんの応募を心よりお待ちしております!

【応募条件】

教員志望もしくは教育に興味のある大学生・大学院生

【活動内容】

- ①企画・編集会議への参加*1
- ②編集会議で担当が決まった企画の企画立案、取材、原稿作成*2

*1:編集会議は原則東京で開催。往復交通費等は「社会応援ネットワーク」が負担いたします。
*2:取材経費(交通費、宿泊費等)は「社会応援ネットワーク」が負担いたします。

【応募方法】

E-mailにて、件名に「エデュボン大学生特派員参加希望」、
本文に①氏名 ②大学名 ③学部学科 ④学年 ⑤電話番号を記載の上、
edupont@shakai-ouen.comまでご応募ください。
(なお、応募状況によってご希望に沿えない場合もあります。ご了承ください。)

製作協力

日本教職員組合

取材協力

聖徳大学

明海大学

近畿大学

協賛

教職員共済生活協同組合

Facebookもチェック



エデュボン

検索

EDU
PONT

| 2017
winter
vol. 8

発行人

高比良美穂

編集長

若染雄太

取材・編集

ニューメディア研究所
シンキング

撮影

武田憲久
横井明彦

デザイン

細山田デザイン事務所

学生特派員

岡田龍

(埼玉大学大学院理工学研究所)

小島奈津子

(早稲田大学教育学部)

田村桃花

(同志社女子大学現代社会学部)

田盛七海

(安田女子大学教育学部)

原国光

(広島修道大学人文学部)

松木泰裕

(東京学芸大学大学院教育学研究科)